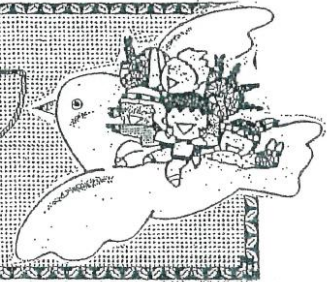


またまたネットワーク

あぶくろーが北地域活動委員会 2024.2.26 No.82

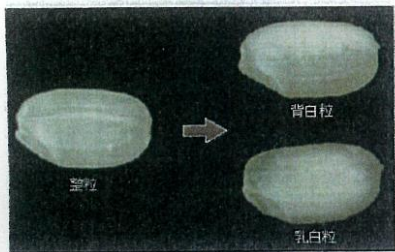


～ 温暖化防止の取り組み～

温暖化の影響 農業 健康

2024.1.19.
推進学習会より

図2-1-1) コメの白未熟粒による品質低下



写真提供：九州沖縄農業研究センター森田敏上席研究員

■コメの収量や品質に影響を及ぼします。白未熟粒の増加をもたらします

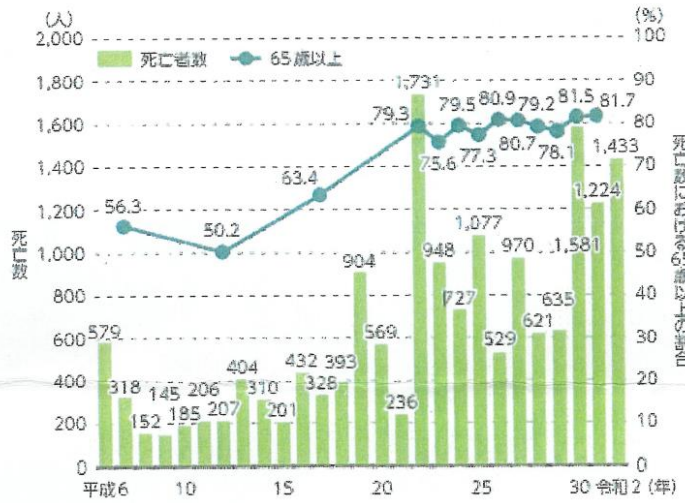


■着色の進行が遅れたり、着色不良となることが確認されています。

■1等米の比率(農林水産省11月30日速報値)

23年61.2% 22年78.7% 21年83.1%

熱中症による死亡数の年次推移



注：令和2年の値は6月～9月合計(概数)

資料：厚生労働省「人口動態統計」より環境省作成

令和3年環境白書より

このまま温暖化が続くと

2046～2065年の平均収量

1979～2003年平均に比べ

北海道 26%増収
 東北 13%増収
 近畿・四国 5%減収

2081～2100年

減収地域は 中国・九州へ広がる

2023年5～9月の救急搬送者 91,467人

〈学習会で紹介された取り組み〉

じぶんごきょうネットワーク



ゼロカーボンアクションとは

できることから始めよう。暮らしを脱炭素化するアクション!

各地で異常気象が発生する中、気候変動という地球規模の課題の解決に向けて。

日本は、「2050年カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現」(2050年まで温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする)を目指しています。

環境省



商品やサービスのライフサイクル全般で排出された温室効果ガス(CHG)の量を、CO2量に換算し、商品やサービスに表示し「見える化」

脱炭素社会の実現には、一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。

「ゼロカーボンアクション30」にできることから取り組んでみましょう!

*下の各カテゴリーをクリックすると具体的なアクション項目が確認できます。

- エネルギーを節約・転換しよう!
- 太陽光パネル付き・省エネ住宅に住もう!
- CO2の少ない交通手段を選ぼう!
- 食ロスをなくそう!
- サステナブルなファッションを!
- 3R (リデュース、リユース、リサイクル)

